令和６年度　日本大学自主創造プロジェクト

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

２０２４００７

超高齢社会の新たな風景：若者の観光振興活動が描く佐渡島の未来

プロジェクトの概要

佐渡島は人口減少と高齢化が進む中、金銀山の世界遺産登録を契機に持続可能な発展を目指している。一時的なブームで終わらぬよう、地元住民や校友、地域の実力者を巻き込み、佐渡の魅力を島内外に発信する。さらに、自然や文化資源のアーカイブ化を進め、次世代へ継承する仕組みを構築する。地域コミュニティと連携し、環境や文化に配慮しながら関係人口を増やし、佐渡の活性化とともに日本全体の未来を考える次世代リーダーの育成にもつなげる。

プロジェクトの結果・成果

本プロジェクトは、佐渡島の魅力を多角的に発信し、持続可能な観光モデルの構築を目指して実施された。佐渡島内での取り組みと対外的な活動の２つの側面がある。

佐渡島内では、Google My Maps を活用した観光マップを作成した。地元住民への聞き取りや文献調査を通じて収集した情報を基に作成され、観光客だけでなく地元住民にも有益な内容である。地名やカフェ、金銀山のある相川地区に関する情報が網羅されており、地域の文化継承や誇りの醸成にも寄与する。また、異なる世代が語り合える場が形成されつつあり、地域資源が体系的に整理・共有されることで、佐渡の文化や自然資源のアーカイブ化のきっかけとなる。

さらに、NTT データの「佐渡島自然共生ラボ」プロジェクトへの参画が決定され、来年度は佐渡の食文化や伝統芸能などのアーカイブ化を行う予定である。新潟日報や佐渡市が中心となる「佐渡島天地人サイエンスプロジェクト」との協力体制のもと、小中学生とともに Google My Maps を用いた情報収集と発表を行う予定である。本プロジェクトで培った経験や関係性を基盤として実現する見込みである。

対外的な活動としては、芸術学部制作の動画を活用した広報が行われた。在京大使館でプレゼンテーションが行われたほか、セゴビア市では短期留学中のメンバーが、市役所のレセプションやスペインの学生との交流において、水道橋と佐渡金銀山という人類の技術力を示す世界遺産の類似点を強調しながら、佐渡の紹介を行った。これにより、持続可能な観光の重要性を訴え、世界遺産を有する都市間の相互理解と協力関係を深める成果を上げた。また UNED（スペインの大学）、セゴビア市役所、セゴビア観光公社のホームページや Facebook においても紹介された。これらの取り組みは、佐渡の地域活性化に貢献するとともに、日本の古き良き風景や地域資源を次世代へ継承するための持続可能な観光モデル構築に寄与している。

活動写真




